

## 目 次

### (1) 募集案内・お知らせ

■「外国人留学生のための合同企業説明会」開催！

■外国人のための避難所宿泊訓練 参加者募集

### (2) 大阪府外国人情報コーナーだより

■社会保障条約に関して

### (3) OFIX 事業報告

■留学生等外国人のための就職支援セミナーを開催してい

ます

### (4) OFIX ネットワーク

■外国人府民への情報交流促進事業

### (5) 大阪国際クラブニュース

■海外からお便りが届きました

元留学生 (OFIX 奨学生) チン・ユーシュン (中国)

### (6) OFIX 国際交流員のレポート

■大阪の魅力

## (1) 募集案内・お知らせ

■「外国人留学生のための合同企業説明会」開催！

外国人留学生と留学生を積極的に採用する企業の出会い



の場をつくり、留学生が就職するにあたり必要な情報を提供することにより、外国人大学生などの日本での就職を支援します。

日時：平成23年1月15日

(土) 10:00～17:00

会場：マイドームおおさか1階(大阪市中央区本町橋2-5)

### 参加募集対象者：

日本企業(外資系を含む)に就職を希望する外国人留学生など。

・2011年・2012年3月卒業予定、既卒の外国人大学生および外国人専門学校生

### 内容：

「企業ブース」外国人留学生などに対する採用意欲の高い企業(60社出展決定)

「個別相談コーナー」キャリアカウンセラーによる就職個別相談コーナー、行政書士による在留資格相談コーナー

「セミナーの開催」在留資格に係る注意点、就職対策DVDコーナーなど

参加費：無料

問い合わせ：大阪府国際交流財団、企画推進グループ

TEL:06-6966-2400 E-mail:info@ofix.or.jp

詳細はこちら：<http://www.ofix.or.jp/shien/index2.html>

○基本的に事前予約制になりますので申し込み方法および出展企業60社の検索は <http://www.grs-project.jp> をクリックしてください

\*\*\*みなさんの参加お待ちしております。

### ■外国人のための避難所宿泊訓練 参加者募集

OFIXでは(財)大阪国際交流センターおよび近畿地域国際化協会連絡協議会と共催し「外国人のための避難所宿泊訓練」を開催しますので外国人参加者を募集中です。

地震や台風による風水害など災害が起こったとき、文化や習慣の違いから「避難所」の存在を知らない外国人がたくさんいます。どこに避難所があるのか、何をしてもらえるのか、(特活)多文化共生センター大阪代表理事の田村太郎氏のレクチャーを交えながら実際に体験していただく訓練です。

日時：平成22年12月18日(土)16:00～19日(日)10:00

会場：大阪国際交流センター 3階(大阪市天王寺区上本町8-2-6)

内容：災害時についての講義、非常食の体験、避難所での生活体験

参加費：無料

特典：寝袋プレゼント、食事(夕・朝)は主催者で用意します。

申し込み締め切り：平成22年12月10日(金)正午

定員：50名(先着順)

申し込み方法：電話、ファックス、Eメールのいずれかで、住所、氏名、年齢、性別、国籍、電話番号、Eメールアドレスを明記の上、下記申し込み先まで

申し込み先：財団法人大阪国際交流センター情報企画部避難所訓練宿泊係

電話：06-6773-8182 FAX:06-6773-8421

Eメール：[johokikaku@ih-osaka.or.jp](mailto:johokikaku@ih-osaka.or.jp)

\*多言語の通訳ボランティアがおりますので安心してご参加いただけます\*

@@@この事業に関する全般的なお問い合わせは

(財)大阪府国際交流財団 企画推進グループまで

電話：06-6966-2400

## (2)大阪府外国人情報コーナーだより

### ■社会保障条約に関して

人の国際的移動がさかんになり、日本で働く外国人や外国に派遣される日本人が増えるに従い、公的年金の二重加入や年金の受給資格を満たさないため、保険料の掛け捨てという問題が生じています。その問題を解決するために、ドイツ、韓国、英国、米国などさまざまな国との間で2カ国間協定が結ばれています。今年7月には日本とブラジルの間で社会保障協定が署名されています。これは日本にとっては14番目の社会保障協定です。これらの協定は国毎に内容が少し異なっています。ブラジルとの協定では、受給資格の判定に際しては、両国制度の保険期間が通算されるので、保険料の掛け捨てが防止されることとなります。また、5年以内の派遣につい

ては、相手国の制度加入が免除されます。一方、国民年金や厚生年金保険に加入した期間が6カ月以上ある外国人の場合は、「外国人脱退一時金制度」により、出国後2年以内に申請すれば一時金を受け取ることができますが、もしこの一時金を受け取ると、その期間は年金加入期間として通算はできなくなります。

### ◎大阪府外国人情報コーナー

(月～金曜日(祝日を除く))専用電話:06-6941-2297  
(対応時間:9:00～17:30)

FAX : 06-6966-2401

E-mail : jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

## (3) OFIX 事業報告

### ■留学生等外国人のための就職支援セミナーを開催しています

日本に来ている留学生の間では日本で就職したいという希望が高まりを見せていますが、現在の日本の企業の新卒者に対する雇用姿勢には概して非常に厳しいものがあります。しかし、一方では、グローバル人材としての留学生の存在に企業の注目が集まりつつあります。そこで、このような企業と留学生双方のニーズを上手く結び付けていくことが重要な社会的課題となってきました。(財)大阪府国際交流財団では、このような課題を受けて平成 22 年度事業として留学生を対象にした就職支援セミナーを企画しました。この事業は、財団の呼びかけに応じて協力を申し出ていただいた大学(院)、専門学校の、就職を控えた留学生を対象にして、日本での就職活動のスケジュールの認識、自己の資質・特性の分

析、会社が留学生に求めるものの理解、面接や筆記試験の対策、就職に関係する在留資格手続きの知識等の授業を行い、その実績を踏まえて、セミナー実施のノウハウをマニュアルとしてまとめて、大阪府内の各校で活用していただけるように配布しようとするものです。

すでに 10 月からセミナーを順次実施しており、関西大学、ホスピタリティ・ツーリズム専門学校大阪では終了しています。現在は、大阪経済法科大学、大阪産業大学で開催中ですが、今後、堺市留学生交流実行委員会に参画している大学や ECC 国際外語専門学校で実施して 1 月初めに完了し、年度内にはマニュアルを作成して府内の各大学専門学校に配布する予定です。

## (4) OFIX ネットワーク

### ■外国人府民への情報交流促進事業

みなさん、はじめまして。

OFIX 調査員の柳崎(やなぎさき)です。10月より始めました「外国人府民への情報流通促進調査」を担当しています。

この「外国人府民への情報流通促進調査」は、OFIX と (財)箕面市国際交流協会、(特活)と

んだばやし国際交流協会が共同で実施している調査です。大阪に暮らす外国人・外国にルーツを持つ方々が「どのように行政情報や生活情報を受け取っているのか」について聞き取りを行うとともに、情報流通のキーパーソンや情報が集まりやすい場所について調査しています。こ

の聞き取り調査の結果から、今後、大阪に暮らす外国人・外国にルーツを持つ方々がきちんと情報を入手できる方法をみんなで考えて行くことを目的としています。

私たち調査員は通訳員とともに、各国領事館、市町村の国際交流協会、在日外国人支援を行うNGOs、教会やモスクなどの宗教施設や日本語よみかき教室など、外国人・外国にルーツを持つ方々が集まる場所を訪ね、お話を聞き歩いています。また、調査にご協力いただいた方から新たにお友達やグループを紹介していただくこともあり、皆さまのお陰でこれまでに300人以上の方にお話を聞くことができました。

大阪での暮らしに必要な情報が十分に入手できず困っている方々にお話を聞くと、情報が入手できていない理由はさまざまです。聞き取り調査は、実際に合わせ会話をしながら進めていきますので、なぜ彼らがそう考えているのかといった「答えの裏側にある気持ち」もより深く

聞くことができますし、「話しながら思いだしたけど・・・」と次から次へとアイデアが出てくることもあります。それが聞き取り調査の大切なところでもあり、面白いところだと感じています。

私自身は大阪で生まれ育ち、学校や職場でも多くの外国にルーツを持つ友達や同僚と出会ってきましたが、この調査を通して、改めて、大阪は多国籍・多文化な街であると実感しています。情報流通の様子も、それぞれの国籍やコミュニティによって違っているのかもしれない。それぞれの国籍やコミュニティにおいて、どのように情報が流通しているのかを把握し、効果的な情報提供の仕組みづくりに貢献できる調査にしていきたいと思います。

## (5) 大阪国際クラブニュース

### ■海外からお便りが届きました 元留学生(OFIX 奨学生) 陳友駿(中国)

皆様、久しぶりです。お元気ですか。大阪から離れ、あっという間に一年半が過ぎました。時折、私にとって第2の故郷である大阪の風景を思い出します。いつか大阪を再び訪れることを楽しみにしています。

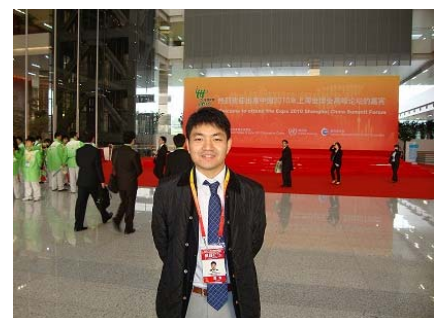
さて、2010年の5月1日から10月31日までの間、上海万博はスムーズに開催されました。万博公式統計によりますと、184日間の開催期間中、累計入場者数が7308万人で、しかも、一日の来場者数のピークが10月16日において103.28万人に達したとの事です。

もちろん、上海万博の成功は中国国民の努力で支えたものだけではなく、日本、アジアおよび世界の方々から様々な協力や貢献をもととして、構築された結果であったと思います。特に、日本の国民は上海万博の成功に非常に大きな貢献をしてくれました。パビリオンとして、日本国家館、日本産業館、大阪館と三つありました。そして、沖縄県や奈良県など日本の様々な地域も地元の文化や食べ物など万博の現場に持ち込みまして、世界

からのお客様と交流しました。

さらに、日本館、サウジアラビア館および中国館はトップ3の人気があるパビリオンでした。特に、印象深いのは日本館にて語られた朱鷺の物語でした。朱鷺への救護を通じて、日本の先進技術、伝統文化、現代芸術なども巧みに繋がりまして、さらに中日友好の情報もたっぷり伝えられました。

幸いなことに、私は4月30日に万博の開幕式と10月31日の上海万博サミットに参加いたしました。また、開催期間中に、日本、アメリカ、ヨーロッパおよび他国のお客様を案内し、万博パークを10回以上訪れましたにもかかわらず、まだまだ足りないと感じております。上海万博は、上海市民および中国の国民に、より多くの世界との交流の為の「窓」の一つを提供し、中国の経済や文化などの発展に更なる役割を果たしたと確信しました。







☆☆

---

---